

学習内容報告書 フォーマット

学校名	能登町立松波小学校
授業者	瀬戸 貴之 河元 友子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「海の資源をいかす取組にふれよう～イカさばき体験を通して」

1-2. 学年

5年, 6年

1-3. 教科 (単元を実施する教科を全てお書きください)

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

イカさばき体験を通して、イカの体のつくりと働きを知る。また、水産業に従事している人々の仕事について知る。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

地元特産物であるイカの一夜干し体験を通して、海洋資源の有難さを知るとともに、海洋資源を活用している人たちにも関心をもつ。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

生き物と触れ合う活動を通して、命の尊さに気付くとともに、身近な海の恵みに気付く。

1-7. 単元の展開（全5時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ・ 2	<ul style="list-style-type: none"> ・イカについて知っていること, 知りたいことを話し合う。 ・イカの加工品について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イカに興味をもち, 課題を見出している。【思判表】 ・課題解決に向けて必要な情報を収集し, 計画的に調べている。【思判表】 ・情報を比較・分類・関連付けるなど, 探究の過程に応じた技能を身に付けている。【知技】
3 ・ 4	<ul style="list-style-type: none"> ・イカの体のつくりについて学ぶ。 ・一夜干しの工程を学び, イカを実際にさばく。 ・振り返り 	外部連絡:「能登町農林水産加工センター」 <ul style="list-style-type: none"> ・身近な生き物に関心をもち, その生き物に関わろうとしている。【態】
5	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことや考えたことを, 相手意識をもってわかりやすく表現している【思】

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ



単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

地元特産物である「イカの一夜干し体験」を通して、海洋資源の有難さを知るとともに海洋資源を活用している人たちに関心をもつ。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 挨拶</p> <p>2. イカのさばき方（体の構造、食文化、イカの加工食品の紹介）について知る。</p>  <p>3. 【課題】《海の資源をいかす取り組みにふれよう～イカさばき体験を通して～》</p> <p>4. GTによるイカのさばき方講義 児童によるイカさばき体験</p>  <p>5. 体験してみてわかったこと発表する。 ※6年生は昨年行ったが、5年生は自分でさばくのはほとんどの児童が初めてだった。何度か挑戦するとだんだんコツをつかめて、さばくのが楽しくなってきたようだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「有限会社カネイシ」の新谷さんにイカの体のつくりやさばき方（包丁の使い方や内臓、メガラスの取り出し方など）について教えてもらう。 ・手元をTVに写す。 ・使用場所の換気を徹底する。 ・児童、教員はマスクを着用。手洗い。器具などに触る前に手指消毒。事前に器具など消毒する。 ・密を避けるため、家庭室での体験は学年ごと入れ替わって行う。（家庭科室 40 分間×2） ・5年生は6年生が実施している間は、教室で準備、身支度、ビデオ再視聴を行う。

6. まとめをする。

7. 挨拶

8. 片付け

振り返りをする。(各教室で)

- ・さばいたイカは「有限会社カネイシ」さんの工場で海洋深層水につけてから、干し、真空パックにされた。



3. 今回の活動の自己評価

- ・「もっとイカのことについて知りたいな。」「これからイカを食べるのが楽しみだ。」と、興味関心がさらに高まった。
- ・5, 6年生のときに取組むことで、イカのさばき方に十分慣れることができた。
- ・地元特産物である「イカ」から海の資源をいかす取組にふれることで海洋資源のありがたさや海洋資源を活用している人たちに関心をもつことができた。

4. 今後の課題

・コロナ禍で安心して体験活動を行うために、感染予防に十分注意が必要である。特に、食べ物を扱うときは各関係機関と連携を取りながら慎重に対応していく。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

・イカの漁獲高が減り、イカの値段が高騰している。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。